

南鯨城会 第48号

こなみ会だより

平成30年1月発行



富部神社

【目次】



表紙

第17回趣味の作品展を終えて(お礼とお詫び).....	1
趣味の作品展を終えて	2
太陽に寄せる「七題」	3~4
親睦バス旅行に参加して	5
鯉城16区フェスティバルに参加して	6~7
<u>クラブ・同好会の活動</u>	
信長の足跡を訪ねて	8
ペタング同好会のご案内	9
こなみペタング大会	10~11
健康麻雀同好会土曜会に参加して	12
<u>ボランティア活動</u>	
ボランティア報告アラカルト	13~15
<u>俳句・川柳・短歌</u>	
俳句	16~17
川柳	18
短歌	19
こなみ会行事予定30年/1月~4月	20

「表紙の説明」富部神宮

名古屋市南部の笠寺台地に位置している
富部神社の本殿です。

慶長年間に清洲城主松平忠吉公が創建した。

本殿は、桃山建築の様式を残し国の重要文化財に
指定されています。

約400年にわたりこの地を守り続け、今も変わらぬ
地域の憩いの場として、地域の守り神として人々
の信仰を集めています。

(水彩画 C-大磯 25期環境 竹内 孝明)



第 17 回趣味の作品展を終えて

～御礼とお詫び～

会長 岡田光二

去る 11 月 9～10 日、南鯨城会恒例の「趣味の作品展」を開催することが出来ました。当初予定から 3 週間遅れての催行でした。

ご来場の皆様、出展者の皆様誠にありがとうございました。

「青天の霹靂」とはまさにこのことでしょう。突然の衆議院解散総選挙の決定、ピンポイントで我々の予約会場を投票所として奪い去りました。

一時は開催そのものの中止も頭を過りましたが、関係各位のご協力により同じ場所でギリギリの日程を確保できました。ただ半日分の時間が取れず、会場の設営が夜間にずれ込みました。作品搬入・展示も綱渡りの厳しい中で、役員はじめ会員の皆様のご協力を得て何とか開催にこぎつけました。

ここに南鯨城会先輩諸氏が紡いできた伝統行事が繋がりました。

実行に携わったメンバーに深く感謝いたします。

他方念には念を入れたつもりでしたが、ご来場されるお客様や出展者の方々への日程変更の案内がやはり徹底出来ませんでした。

苦情も数件お聞きしました。我々の気が付かない処で、関係各方面の方々に少なからずご迷惑をお掛けしたことと思います。

一度活字にして頒布したものの修正が如何に難しいか痛切に思い知らされました。ここにご迷惑をお掛けした方々に、改めて深くお詫び申し上げます。

この厳しい経験を糧に、これからの南鯨城会の活動全般に我々一同邁進して参ります。

今後ともよろしくご指導のほどお願い申し上げます。



平成 29 年 11 月 11 日記

“趣味の作品展”を終えて

行事委員長 28 期生活 A 加藤 宗一

第17回「趣味の作品展」が11月9日～10日に開催されました。

今年は、急遽決まった衆議院選挙の煽りを受け、当初予定をしていた10月18日・19日開催が中止になり関係者一同がパニックに陥りました。

会場の手配が出来ない場合は中止案も浮上していましたが、岡田会長の尽力により11月9日～10日に会場の手配が出来開催の運びとなりました。



早速、開催変更の通知を関係各位や出展者に連絡し短期間での準備をすることになり、開催日の変更で出展作品が減少しないかと心配しましたが幸い欠品者もなく安堵しました。

11月8日午後3時からの会場作りも役員の方々のご協力により短時間で完成し、作品の取り付けも無事終わることが出来ました。

出展作品は、こなみ会会員・区民・3つの老人介護施設からの出展で（絵画・油彩・水彩・パステル画・パソコンアート・版画・絵手紙・ロウ彩画・書・水墨画・写真・陶芸・苔玉・手工芸・アルミ缶アート・生け花）等113点の作品が集まりました。

どれも皆、努力と苦心の作品ばかりで来場者の方々も感動してみえました。

当日は好天に恵まれ1日半の開催でしたが、総勢285名の来場者がありました。

来場者の方々には昨年からはじめた抹茶によるおもてなしも好評でした。

作品資料の準備や会場の設営、展示のレイアウト、当日のお世話を頂いた役員の方々はお疲れ様でした。心よりお礼申し上げます。

この先、来年3月迄の間に鯉城会「こなみ会」の活動やイベントがまだまだありますので皆様方のご参加とご協力をお願い致します。



(抹茶によるおもてなし)



(会場風景)

親睦バス旅行に参加して

行事担当 A-豊田 28期文化B 森 洋子

NHKの大河ドラマが放映されるとその地は、話題になり観光スポットになります。今回は、直虎にちなんだゆかりの地を訪れるバス旅行に参加しました。



日本中が快晴の行楽日和、参加者は39名。最初の見学は方広寺でした。湖北五山の一つに数えられている名刹であります。立派な境内を案内していただき、日頃公開されていない所も見学できたのは、ラッキーであったと思います。修行僧の日常生活は、午前二時に起床、ひたすら座禅にあけくれる厳しい生活とか、現代においてもこんな事をしているのですよ、という言葉が印象に残りました。方広寺で昼食。名物の精進料理に“うなぎ”と見間違う一品がありました。係りの人に聞けば材料は山芋と蓮根。うなぎの皮部はのりで仕上げられた鰻もどきは、結構美味しくて、工夫の素晴らしさに感心しました。

車で10分ほど、次の見学地 竜ヶ岩洞到着。36年前に洞窟愛好家によって、数々の難関をのり越え発掘されたものです。それによって、2億5千万年もの間眠り続けていた未知の地底世界が、一躍脚光を浴びたのでした。東海地方では、最大規模ということですが。鍾乳石は100年に1cmという遅遅たる歩み、何万年もかけて成長し続けています。洞窟内の鑑賞スポットは、50箇所。鍾乳石の数々には、名称がつけられていました。“黄金の富士”“マリア観音”“長寿の泉”等々・・・大自然の造形美を十分に楽しむことができる場所でした。中でも地底の大滝は、落差30m圧巻でした。すべてが神秘的に満ちた地底の世界は、素晴らしかったです。

龍潭寺へも15分ほどで着きました。井伊家の起源と繁栄を見守り、歴代を祀る菩提寺であります。直虎が母親と暮らしたこの寺には、左甚五郎作・龍の彫刻や、織田信長の遺品等、数々の文化財もありました。国指定名勝になっている庭園は、小堀遠州作、石が表現する禅寺の庭です。腰かけてゆっくり鑑賞してきました。風情に富ん



だ四季折々の景観も、きっとすばらしいでしょう。いつか又、訪れてみたいと思いました。

帰路の車中では、全員参加で“なぞかけゲーム”が行われました。その景品がユニークで実によく出来ていて、今回も大好評でした。

次回はぜひ一緒に！！直虎をめぐるバス旅行は、大変楽しく、有意義でした。

太陽に寄せる「七題」

B - 千鳥 20期環境 荒井 久治

①、はじめに：昨秋(2017/9/3)秋篠宮眞子様と小室圭さんとの婚約内定の記者会見(図1)で小室さんは「あまりに月が美しかったので思わず電話をしたことがあります。

眞子様は、月のように静かにみまもってくれます。

眞様は「小室さんの太陽の様な笑顔が好き」と、微笑ましい話がありました。

そこで前号の「月」、今回の「太陽」としました。



図1 記者会見

②、生物は太陽の子：宇宙は、137億年前のビッグ・バン(大爆発)から始まりました。超高温・高圧から宇宙の膨張と共に温度は下がり、現在の宇宙の温度は3K(-270℃)の極寒の世界です。理論上の最低の温度は「絶対零度」と呼ばれ0K(ゼロケルビンと読む)、摂氏で書くと-273.15℃です。

宇宙創造後、無数の銀河が生まれました。

我われの属す「銀河系」、その中に「太陽系」が生まれ(図2)、太陽との位置関係が良かった地球のみに、生命が生まれ人類が誕生しました。

太陽なしでは生物は生きられません。

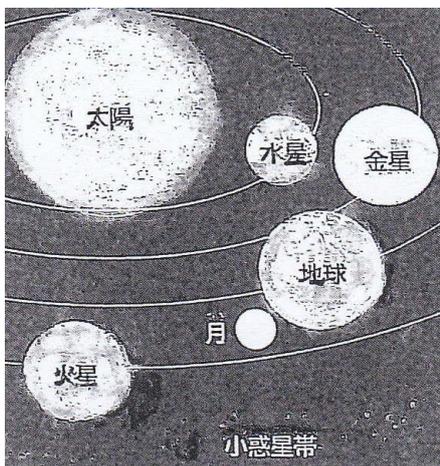


図2 太陽系

③、古代の太陽神信仰：どこの民族も古代からの太陽の有難さを感じ崇拝していました。日本の古事記では天照大神(女神)が太陽神です。

欧州の言語の中に名詞を男性・女性・中性名詞と分けるものがあります。「太陽」はイタリアとスペイン語では男性名詞、ドイツ語では女性名詞です。

世界的にみると「太陽」を男性とするのは約60、女性とするのは約30で、男性と観る民族が多いようです。



Kirinuke

④、なぜ太陽は輝く：昔は太陽が輝く原理が分からず、石炭や石油が燃えて輝いているとして科学者は計算したところ、1万年ほどしか持ちません。20世紀に入りア

インシュタインは「質量＝エネルギー」の相対性原理を発表し、太陽の輝く原理が理論化されました。現在の太陽は水素が75%、ヘリウムが25%で毎秒6,200億トンの水素が核融合反応を起こし、ヘリウムに変わり、その時に元素の重さがエネルギーに変わり太陽は輝いています。夜空の満天の星ぼしも同じ原理で輝いています。

⑤、太陽の温度：太陽の表面温度は6,000K、中心温度は1,500万K、2,500億気圧です。

⑥、太陽のコロナやフレア：皆既日食で完全に黒くなった太陽のふちから輝く「コロナ」がリング状に観えます。時に大爆発で高速のガスの塊が表面から空中に噴き出します。これをフレア(図3)と言い、火炎の高さは1～5万km、温度5百万度K前後の高温で、X線や電子・原子核を噴き出す姿です。フレアは太陽風とも呼ばれ、地球を取り巻く磁気圏に沿って北極と南極に入り美しいオーロラを出現させます。時に巨大なフレアが発生すると、無線交信を乱すデリンジャ現象や送電線に過剰誘導電流を発生させ停電させ、電子装置を破壊し、文明社会生活を大混乱させ大きな損害を与えます。



図3 太陽のフレア

なお、太陽の光は距離の関係で地球に8分かけて届きます。隣の銀河の光さえ2百万年前に発した光、我われは過去の宇宙の姿を観ているのです。

⑦、太陽の年齢と寿命：ビッグバンから宇宙は創造を開始し、遠い銀河は光の速度で膨張し続けて、我われから遠ざかっています。広大な宇宙での地球の位置は、宇宙>銀河系>太陽系>地球となります。太陽でさえ宇宙では取るに足りないホコリの様なもの。所属する銀河系の中でも、中心から外れた所に位置しています。

太陽は、誕生以来46億年。あと50億年後、太陽の水素が燃え尽きヘリウムが燃えだす頃には、次第に体積が膨張し、赤い星の巨星となり、地球は太陽に飲みこまれてしまう様です。ところがその前に、230万光年離れた隣のアンドロメダ銀河が今も接近中で、30億年後には我われの銀河系に衝突すると予想されています。この様に宇宙は絶えずダイナミックに変化していますので新しい情報に目が離せません。

◎後書き：柔らかく書こうとしましたが、硬い内容となってしまいました。「新春に、眞子様と小室圭さんのご婚約の日程が発表され、世の中を明るくして欲しいものです」ワン! (干支の初鳴き) 以上

鯨城 16 区フェスティバルに参加して

B - 千鳥 29 期健康A 木村 満治

鯨城 16 区フェスティバルが 12 月 13 日(水)に、東スポーツセンターにて開催されました。

今回の行事は、鯨城会会員が一堂に集い、会員相互の親睦と健康の維持促進を図るため、鯨城会主催で、初めて実施されたものである。

参加人数は、総員約 880 名で、こなみ会からは、26 名の参加であった。

スポーツセンター競技場の観客席は、ほぼ満席で大盛況であった。

ただし、当会の参加者が、やや少なかったのは残念である。

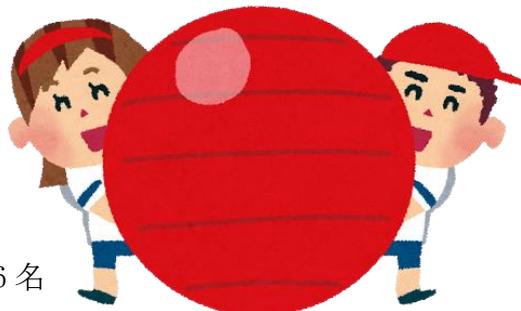
実施内容は、開会式・準備体操後、競技及びアトラクション（民踊・フォークダンス）を行った。

競技は各区対抗戦で、競技種目および結果は、次の通りであった。

競技種目	結果	参考
①ボケ防止「○×クイズ」	選外	全体で実施
②皆で送ろう「ボール送り」	2 位	4 チームと対戦
③初恋の味「パン食いリレー」	1 位	4 チームと対戦
④背筋伸ばして「玉入れだ」	1 位	4 チームと対戦
総合成績	3 位入賞	全チーム数 16

<参考>1 位：東鯨城会
・2 位：瑞穂鯨城会

こなみ会の参加者の皆さんが力を合わせ頑張った結果、**総合第 3 位入賞**となり、こなみ会の団結力を各区の鯨城会に示すことができました。



アトラクションでは、「輪になろう日本の民踊（名古屋ばやし・炭坑節）」、及び「憧れの君とフォークダンス（マイムマイム・オクラホマミキサー）」を、参加者の多くの人が一
堂に踊り、当日は北風が吹く大変寒い日でしたが、大いに盛り上がり体が熱くなり汗をかくぐらいで、外の寒さは全く感じませんでした。

私も多数の競技及びアトラクションに出場させていただき、楽しい時間を過ごさせていただきました。

今回の行事において、お世話をして頂いた役員の方々お疲れ様でした。

心よりお礼申し上げます。



信長の足跡を訪ねて

ニーゴー会 森 晴生

10月25日ニーゴー会の活動日でしたが、あいにくの雨、雨の日は中止となっていましたが、自分含めて4名の方が集合場所である、

名鉄有松駅へ見えられたので、折角来たのにこのまま帰るのももったいないとの事でしたので、雨の降りしきる中、信長出世の糸口となった「桶狭間の戦」の史跡を巡りながら今川義元との合戦の主戦場となった「桶狭間古戦場公園」までの道程（一部ですが）を歩きました。



コースは、名鉄有松駅から「高根山」（今川方の先鋒・松井宗信軍が陣を張り、織田軍を牽制・見張っていた場所）で、現存している石垣等を見、「釜ヶ谷」（織田信長が潜んで突撃の機会を伺っていた場所）へ移動して、信長坂（桶狭間山に陣を敷いていた今川義元に奇襲をかけた時、駆け上がったとされる坂）現在は大学の敷地内に在る為、遠見してから「七つ塚」（勝利した織田信長が戦死者を弔う為に七つの塚を村人に作らせ、

霊を弔ったと伝えられる）まで移動し、最終目的地である「桶狭間古戦場公園」（桶狭間の戦いの中心地で、田楽坪と言われ今川義元最後の地）へと歩を進め、公園には織田軍・今川軍其々の進軍経路が掲示されており、今川義元「馬繋ぎの木」等々もあり、又近辺には「井伊直盛陣地後」・「瀬名氏俊陣地跡」等多く点在しています。



今回は戦いの場となった桶狭間の一部のウォーキングでしたが、往時に思いを馳せながら、少なからず歴史も感じられた雨中ウォーキングとなりました。

4名の方々お疲れ様でした。

ペタンク同好会のご案内

D一笠寺（1）26期文化A 松岡 崇



毎週日曜日午前8時30分から呼続公園の南の広場で競技が始まります。

ペタンクとは、フランス発祥の球技です。

競技というものがまだそれほど知名度が高くなく、どのようなことをするのかよくわからない方もいらっしゃると思います。

簡単に言えば、鉄の球を転がし点数を競い合うというスポーツです。

この競技が親しまれる理由は、老若男女どなたでも対等にできるということと、どこでもほんの少しの場所で気軽にプレーができる場所にあると思います。

世代間の交流も簡単に図れて、楽しく快い疲労感もあって適度な運動にもなるので、健康のためには最適化と思います。

私も2年くらいになりますが、簡単なスポーツの割には奥が深くてなかなかうまくなりません。

なんでもそうですが、上には上があってなかなか上手にはなりません。でも体を動かすということは、この年になってくるとボケ防止になるのではないかと自分なりに考えて楽しんでやっています。

ご希望の方は、ペタンク代表 瀬口 勝 迄てに ご連絡ください。



平成29年11月5日（日）開催

こなみペタンク大会

平成29年の10月は、何かと振り回されました。衆議院選挙と台風上陸です！
10月21日（土）22日（日）の台風21号上陸で「なごや祭り」は中止となりました。

又各地域の学校の運動会も順延！！1週間遅れの29日（日）も台風22号が上陸し運動会も中止となりました。

11月5日（日）のお天気を大変杞憂していましたが穏やかな秋のお天気となりホッと致しました。

呼続公園の木々も色づきすっかり秋の気配を感じさせます。

こなみ会岡田会長の力強い大会開催宣言によりペタンク大会の幕がおりました。

当日は「南区区民祭」で、区民祭への参加の為、いつもご参加していただいているメンバーもペタンク大会に参加できませんでしたが、大会参加者は23名です。（内2名は飛び入り参加です・・大変ありがたく感謝いたします）



あっちこちで賑やかな笑いや、悲鳴や、和気あいあいの声が響きわたります。

“楽しい笑い” “ヤッター” “入ったー” “嬉しいお喋り” “お友達すぐ出来るコミュニケーション、お友達！！いつでも待っています！おいでね。＊呼続公園で毎週日曜日8時30分からペタンクしてまーす。

こなみペタンク大会 平成29年11月5日(日)開催

参加者順位及び賞品表

大会参加者数 23名



	お名前	順位賞	飛び賞	参加賞
優勝	二村さん	○		○
準優勝	村上さん	○		○
3位	野村さん	○		○
4位	平野さん	○		○
5位	安達(ひ)さん	○		○
6位	春日部さん			○
7位	藤嶋さん		○	○
8位	田中(節)さん			○
9位	内藤さん			○
10位	岡田さん		○	○
11位	倉地さん			○
12位	竹内さん			○
13位	小野田さん			○
14位	田中(良)さん			○
15位	近藤さん		○	○
16位	安達(広)さん			○
17位	松岡さん		○	○
18位	市川さん			○
19位	後藤さん			○
20位	浅井さん		○	○
21位	森さん		BB	○
22位	鈴木さん		BR	○
2回戦から	米田さん			○

皆様お疲れ様でした！風も無く小春日和の心地よいペタンク大会でした。
有難う御座いました。

こなみペタンク同好会 代表 瀬口 勝

健康麻雀同好会土曜会に参加して

D-笠寺(1) 26期文化A 松岡 崇

今年5月から毎週土曜日に健康麻雀会が笠寺福祉会館で開催されて、参加しています。

大勢の人が集まってにぎやかに楽しんでやっています。

今まで麻雀牌も触ったこともない人たちもやってきては指導員の方々が親切に教えています。

女性の人も多くて今では女性のほうが多いくらいで今まででは考えられないような盛況ぶりです。

雀卓も6台あって会員数も30人を超える多さです。

総合指導として日本段位麻雀連盟九段の恒川秀俊先生にも来ていただいてやさしく教えてもらっています。

今までは麻雀というとあまり良くない感じのゲームとしてとられていましたが今では健全な遊びとして頭の体操 ポケ防止に参加者の方々も積極的に楽しんでます。

コミュニケーションの場所としては最高ではないかとおもいます。



ボランティア報告アラカルト

副会長 社会奉仕担当 大田雅巳

今年の秋は週末に雨が降ることが多く、10月の鶴舞公園清掃は7日、予備日の14日も雨で中止になり、22日のさわやかウオーク（南区社会福祉協議会からの要請による）も台風の影響で中止になってしまった。そんなことで秋の最初のボランティアは堀川清掃大作戦が最初であった。

1. 堀川清掃大作戦（11月4日）

集合場所の東築地神社の境内に堀川と生活を考える会、鯉城会、鯉城学園の学生達が集まり、堀川と生活を考える会の指示により、第9拠点の清掃を行った。

こなみ会の担当場所は昨年と同じで国道23号線高架下からコーナン（会社名）までの南から北に向かう約1kmの区間であった。

東築地神社で記念写真を撮り、清掃作業に取り掛かった。鯉城学園の学生さんたちは東築地小学校までの担当であった。

昨年は堀川に数百の黒鴨（？）が飛来していたが、今年は渡り鳥の姿は見えなかった。

天気もまずまず、こなみ会からの参加者は堀川と生活を守る会に参加した仲間も含めて17名であった。

約1時間の清掃作業で最初はきれいだと思った堀川沿いの歩道も思ったより多くのゴミ（燃えるごみ、リサイクルごみ、不燃ごみ）が回収できた。



2. 赤い羽根共同募金（11月12日）

南区社会福祉協議会を通じた南区の共同募金委員会からの依頼でイオンモール新瑞橋で約1時間の募金活動を行った。

当日は、社協の方々や南区手をつなぐ育成会の方々と街頭募金を行った。

こなみ会からは会長をはじめ6名が参加した。

場所は1階セントラルコート入り口側と1階呼続駅側専門店入口付近の2箇所で、こなみ会の担当は専門店入口付近だった。

貸与されたベストを着用し、入店される方や出店される方々に募金をお願いした。

募金をしていただいた方には赤い羽根と絆創膏をお渡しし、小さなお子さん連れにはお子さんに風船も渡した。

通行する方々への声掛けのタイミングがなかなか難しく、慣れてきた頃はもう終わりの時間であったが、お陰様でいい勉強になった。

募金をお願いしながら、人々を見ていると募金をめぐる小さな人間模様が垣間見られ、強い風が吹く場所であったが寒さが気にならないほどであった。

2か所で集まった募金総額は7,411円だった後日、知らされた。



shutterstock · 51410413



3. 国道1号線清掃（11月17日）

当日の参加については事前届けなしとしていたので何人参加者があるかは天気次第であった。

結果は秋晴れのよい朝になった。

朝9時過ぎに集合場所の南区役所前で区鯨城会の旗を立て、手袋、火バサミを準備する。

続々と会員が集まり、30名の大人数となった。

区役所の地域力推進室の方の話を聞いたあと、早速清掃作業に取り掛かる。



2班に別れて行動した。

一方は一号線を千竈通り 5 丁目まで行き、戻ってくるコース、もう一方は一号線を星崎まで行き、戻ってくるコースとなった。

当初はあまりごみゴミもないような気がしたが、よく見て歩くとタバコの吸い殻が多く捨てられているのに驚く。

また一見ごみがないように見えても垣根の中に、空き缶が投げ捨てられていたり、家庭のごみの投げ捨てなどもあり、考えさせられた。

約1時間の清掃で集めたごみは45リットル換算でリサイクルごみ1袋、不燃ごみ1袋、燃えるごみ8袋であった。

当日自主的に集まり、清掃作業を行なって頂いた会員の皆さんに感謝します。



俳句 十八期 国際 安藤 虎杖(進造)

梅雨光る 祇園小稲荷 たつみ橋

梅雨上がる 金閣銀閣 飛雲閣

夏野菜 裸電球 京市場

人の世に 悲喜の決れや 流れ雲

天の川 妻と卒寿の 誕生日



俳句 二十六期 文化A 原 喜彦

小春日や 二年ごしなる 障子貼

つがなく 初春迎え 心地良し

友の声 聞ゆるごとき 年賀状

元朝の 光の中を 駆け抜けり

春寒し 鋏打ち振るふ 一日かな



俳句 二十期 文化B 伊藤 信吾

題名 私の春夏秋冬(その三)

古民家に 履物あふれ 雛の家

奥の院 登りし道に 著莪の花

寡黙なる 友と酒汲み ちちろなく

鳥声に 雪見障子を そつと上げ



俳句 二十七期 文化A 才野 良子

こくこくと 山河をそむる 初明り

厄除けと 鬼門に咲ける 花柎

こまごまの 花一筋に 水引草

健やかに 正月迎ふ 幸のあり

かけ合ひの 琴と尺八 天高し



川柳 二十三期 生活B 湯浅 美祢子

「題」 恋

夢買って ドキドキさせる 宝くじ

逢えないと 知って苦しい 恋心

誕生日 嫁と和解を して祝う

大吉を 引いて悲願の 恋を待つ

卒業本 読んで家では 邪魔にされ

彼氏去り 次のを探す 老いの恋

年寄りが 敬う嫁は さがさない

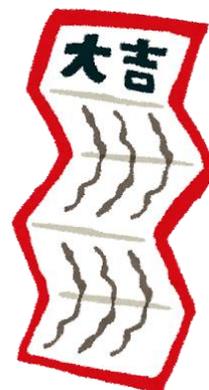
初恋の 人を今までも思いだす

合格の 祈願絵馬だけ

祝言を 挙げない二人 仲がいい

頼りきり

事務局の手違いで、前四七号分に掲載できなかつた分も併せて記載させていただきました。



短歌 十九期 文化A 廣瀬 敏雄

意志もなく 要求うすらぐ わが妻は

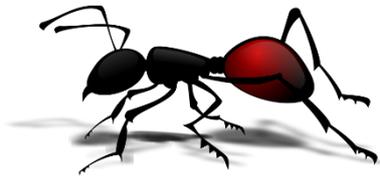
美容院へ行くと わずかに微笑む

港から 今年はヒアリが 侵攻す

蟻の一穴と 言うではないか

負の連鎖 痛とりつき 苦勞せり

負けてはならじと 戦いの日々



がんばって 車買いし 孫と子が

車と共に 記念の写真

わずかでも 我の血をひく 初孫の

連休に來ると ケータイに文字



平成30年1月～4月「こなみ会」行事予定



月	日	行事予定	会場
1	13 (土)	こなみ会だより「48」号発行	社福協5階研修室
	19 (金)	公開講座	鯉城ホール
	20 (土)	定例役員会(9:30～11:30)	社福協5階研修室
	26 (金)	区会説明会(2年生対象)	未定
2	5 (月)	新年行事(寄席観覧)	大須演芸場
	17 (土)	定例役員会(9:30～11:30)	社福協5階研修室
	未定	こころの絆創膏	未定
3	8 (木)	第8回 鯉城会OB文化祭	鯉城ホール
	11 (日)	名古屋ウイメンズマラソン	コース沿線・ボランティア
	17 (土)	定例役員会(9:30～11:30)	社福協5階研修室
	31 (土)	新旧役員引継ぎ	社福協5階研修室
4	日程未定 こなみ会30年度総会にて決定		

「編集後記」

”あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します“

「こなみ会だより」の第48号発刊に関しましては、皆様のご協力を頂き有難うございました。地域に密着し親しみやすく、また読みやすいをモットーに、これからも継続してまいりますので、ご支援・ご鞭撻をよろしくお願い致します。

発行者 南鯉城会・名古屋市高年大学鯉城学園
 発行責任者 南鯉城会会長 岡田 光二 電話番号 052-811-9036
 広報委員 委員長 木村 満治 電話番号 052-611-2886
 古田 和明 鶴田 好美 鈴木 君代
 福島 健治 才野 良子 鈴木 京子